

2023年 4月 24日

研究成果報告書

<p>研究課題</p>	<p>群馬県農村整備課事業 やま・さと応援隊 ・浅原・小平地区を中心とした関係人口増加に向けた体験プログラムの構築 ・片品村の農作物・規格外品を有効活用する商品開発</p>	
<p>研究者</p>	<p>氏名</p>	<p>片岡美喜</p>
	<p>所属学部、学科、職名</p>	<p>地域政策学部観光政策学科教授</p>
<p>研究成果</p>	<p>ゼミの3年生と4年生は、群馬県農村整備課事業「やまさと応援隊」事業にて2課題を採択していただき、群馬県みどり市、道の駅尾瀬かたしなと協働した活動を実施した。</p> <p>4年生は、道の駅尾瀬かたしなで店頭販売などができる商品として「花豆コロッケ」の開発を進めた。統計データを調べると、若者世代は豆類に馴染みが薄く、若年世代になればなるほど豆類の消費が少ない状況がわかった。現状を踏まえ、花豆の商品開発に加えて、広く花豆を知ってほしいことや、気軽に調理できることを伝えるために「花豆レシピ集」の製作に至った。同レシピ集は、道の駅尾瀬かたしなの乾燥花豆の売り場に設置し、買い物客に持参してもらっている。花豆コロッケは、道の駅尾瀬かたしな様が学生らのレシピを更に改良した試作をしてくださり、店頭での販売も視野に入れている。</p> <p>3年生は、みどり市において若者視点の観光PRツールの作成に係る調査・研究を実施した。その結果、フリーペーパー「みどりのミ」の発刊、市内の飲食店や酒蔵、パン店など、地域の農産物をPRする「KODAWARI MIDORI 食・農観光マップ」の制作を行った。</p> <p>成果は、全国エコツーリズム学生シンポジウムと、県庁が主催したやま・さと応援隊活動報告会で発表している。</p>	
<p>今後の計画、課題等</p>	<p>これらの成果はみどり市の観光振興・地域振興のツールとして活用し、学生らも利用者アンケートのモニタリングや、SNS媒体を通じて活動を継続している。</p>	